

こころとからだを育む秘訣とは!?

～子どもの豊かな育ちを願って～



子どもの育ちの「順序やバランス」

抱っこしたり甘えさせたりして、安心感の中で自分が大切にされている気持ち(自己肯定感)を感じ取り、3歳頃までに、基本的な生活習慣や他者との関わり方を身につけていきます

言葉や数などを覚えたり、遊びを通して他者との関わりや動きが活発になります

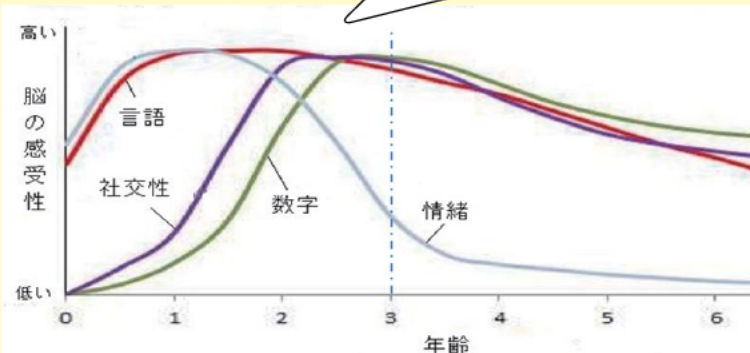
様々な経験や人とのつながりで、考えたり判断をしたり、複雑な動きをするなど、高度な力を身につけます



「寝る、食べる、遊ぶ」などは、「こころ」と「からだ」の土台を築く上でとても大切です

「遊ぶ」「ふれあい」「経験」の中で刺激を受け、感性やからだの様々な機能が発達します

脳は0～3歳時に大きく成長します



第2回社会保障審議会児童部会保育専門委員会 配布資料より

木は強い根や幹を育てれば、大きくなっても倒れず、花や実を实らせます。子どもも、寝る、食べる、遊ぶことを通し「こころ」や「からだ」の「土台」をつくれます。

